

鉄道・バスにおける具体的な端数処理の方法

1. 鉄道

- より正確な転嫁を可能とする1円単位運賃を導入する場合、ICカード運賃の方が現金運賃より安くて然るべきという消費者感覚を前提に、利用者にとって分かりやすいものとして、ICカード1円単位運賃が常に「現金運賃以下」となることを基本とする。
- このため、ICカード運賃が現金運賃より高くなならないよう現金運賃の「切り上げ」を認めつつ、事業全体で108/105以内の増収に収まるよう、定期運賃等の券種により調整。併せてICカードの利用しやすい環境の整備等を工夫。

		現行運賃	
		150円	200円
鉄道	ICカード	154	206
	現金(切上げ)	154→ 160	206→ 210

- ・現金(磁気券)利用が約8%
- ・定期利用が約60%

※JR東・首都圏大手民鉄の状況

2. バス

- より正確な転嫁を可能とする1円単位運賃を導入する場合、ICカード運賃の方が現金運賃より安くて然るべきという消費者感覚を前提に、利用者にとって分かりやすいものとして、ICカード1円単位運賃が常に「現金運賃以下」となることを基本とする。
- バスは現金利用の割合が高い一方、定期運賃による調整の余地が小さいこと等を踏まえ、四捨五入を基本としつつ、ICカード運賃が現金運賃より高くなならないよう同額とすることを認める。なお、事業全体で108/105以内の増収に収まるよう、定期運賃等の券種により調整。

		現行運賃	
		150円	200円
バス	ICカード(一部切下げ)	154→ 150	206
	現金(四捨五入)	154→ 150	206→ 210

- ・現金利用が約20%
- ・定期利用が約20%

※首都圏のバス事業者の状況

(参考) 定期外ICカードの利用割合と1円単位運賃の検討状況

モード	地域	ICカードの利用割合	1円単位運賃の検討状況
鉄道	首都圏	約8割	大手が検討中
	関西圏	約4割	—
	その他	—	仙台・新潟圏で検討中
バス	首都圏	約8割	大手が検討中
	関西圏	約4割	—
	その他	—	—
タクシー	—	—	—
旅客船	—	—	—
航空	—	—	—